

令和7年12月末の交通事故の特徴

発生件数	17,368件	(-1,105件)
死者数	85人	(-6人)
負傷者数	22,016人	(-1,590人)
飲酒事故	96件	(±0件)

【発生件数】

- 発生件数は17,368件(-1,105件)で約1割減少
- 高齢者関連事故は6,029件(-394件)で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は4,375件(-128件)で微減
- 歩行者関連事故は2,099件(-203件)で約1割減少
- こども関連事故は621件(-34件)で約1割減少

【死者数】

- 死者数は、85人(-6人)で約1割減少
- 福岡地区が38人(+3人)で最多
- 高齢者の死者数は49人(-2人)で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上(後期高齢者)が33人(-3人)と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は21人(-6人)で約2割減少
- 歩行中死者数は38人(-2人)で全死者数の約4割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は96件(±0件)と横ばい
- 飲酒死亡事故は3件(+1件)と増加
- 筑豊地区が12件(+11件)と増加
- 福岡市での発生が26件(+4件)と増加
- 北九州市での発生が23件(-7件)と減少
- 酒酔いが5件(+2件)、基準以下が9件(+7件)と増加
- 死者数は3人(+1人)と増加
- 6~8時が18件(+5件)と最多

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は2,689件(-186件)で約1割減少
- 福岡地区が1,687件(-114件)で約6割を占める
- 交差点が1,755件(-150件)で約6割を占める
- 高校生が421件(-48件)で約2割を占める
- 飲酒運転の自転車(第1当事者・第2当事者)の事故は11件(+6件)と増加

注1 () の数値は、前年比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者(第1当事者)が飲酒していた交通事故